

大隅地域感染症情報

2019年第13週報（3月25日～3月31日）

発行：大隅地域振興局保健福祉環境部

○全数把握疾患の報告数

	鹿屋保健所管内	志布志保健所管内
一類感染症	該当なし	該当なし
二類感染症	該当なし	該当なし
三類感染症	該当なし	該当なし
四類感染症	重症熱性血小板減少症候群（SFTS） 日本紅斑熱 各1件	該当なし
五類感染症	該当なし	該当なし

※速報値であり、後日修正になる可能性があります。

○定点把握疾患の報告数

・志布志保健所管内のインフルエンザについて、先週に比べて増加しています。

疾病	警報レベル 開始/終息 基準値	注意報 基準値	鹿屋保健所管内推移				志布志保健所管内推移				大隅全体 13週	県全体 12週
			10週	11週	12週	13週	10週	11週	12週	13週		
インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	6.63	4.63	1.38	1.13	3.60	5.80	3.80	4.80	2.54	1.46
RSウイルス感染症	-	-	0.20	0.80	0.60	0.40	0.67	1.00	0.33	0.67	0.50	0.80
咽頭結膜熱	3.00/1.00	-	1.80	1.80	1.20	0.40	0.00	0.67	0.00	0.00	0.25	0.91
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	-	3.80	0.60	2.00	0.60	2.67	1.33	0.00	1.00	0.75	2.87
感染性胃腸炎	20.00/12.00	-	10.00	7.40	10.00	8.20	4.00	3.33	6.67	6.00	7.38	9.56
水痘	2.00/1.00	1.00	0.00	0.80	1.20	0.60	0.67	1.67	0.00	0.00	0.38	0.67
手足口病	5.00/2.00	-	0.20	0.00	0.20	0.00	1.00	0.33	2.33	1.67	0.63	0.24
伝染性紅斑	2.00/1.00	-	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.17
突発性発疹	-	-	0.20	1.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.33	0.13	0.22
ヘルパンギーナ	6.00/2.00	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.67	0.67	0.33	0.33	0.13	0.11
流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	0.00	0.20	0.20	0.40	0.00	0.33	0.00	0.33	0.38	0.13
急性出血性結膜熱	1.00/0.10	-	0.00	0.00	0.00	0.00						-
流行性角結膜炎	8.00/4.00	-	3.00	1.00	3.00	2.00						2.57
細菌性髄膜炎	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.08
無菌性髄膜炎	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
クラミジア肺炎	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
インフルエンザ入院患者(人)	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-

警報基準値以上

注意報基準値以上

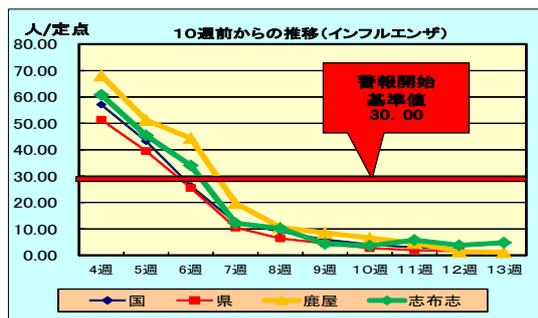
○インフルエンザについて

【 警報開始基準値 30.0, 警報終息基準値 10.0, 注意報基準値 10.0 】

インフルエンザの発生状況は、
鹿屋保健所管内からは9名（定点当たり報告 1.13）の報告がありました。

志布志保健所管内からは24名（定点当たり報告 4.80）の報告がありました。

年齢別では、10～14歳が最多でした。



※第13週は鹿屋・志布志のみ掲載

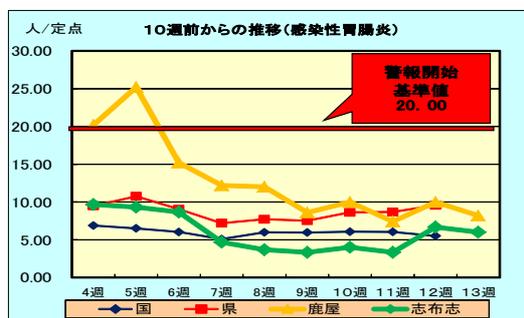
○感染性胃腸炎について

【 警報開始基準値 20.0, 警報終息基準値 12.0 】

感染性胃腸炎の発生状況は、
鹿屋保健所管内からは41名（定点当たり報告 8.20）の報告がありました。

志布志保健所管内からは18名（定点当たり報告 6.00）の報告がありました。

年齢別では、4歳及び20歳以上が最多でした。



※第13週は鹿屋・志布志のみ掲載

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の予防について



県内で今年1例目の重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の患者の発生届けが、医療機関から鹿屋保健所にありました。

鹿屋保健所、志布志保健所管内は例年ダニ媒介感染症の発生が多い地域であり、注意が必要です。

【SFTSとは】

SFTSウイルスに感染する事によって引き起こされる病気です。
主な症状は発熱と消化器症状で、重症化し、死亡することもあります。
多くの場合、ウイルスを保有しているマダニに咬まれることにより感染します。

【注意すること】

SFTSの予防のためには、マダニに咬まれないようにすることが重要です。野山や草むらで作業を行う際は、特に次のようなことについて心がけて下さい。

- ・肌の露出を少なくする
⇒ 帽子、手袋を着用し、首にタオルを巻く等
- ・長袖、長ズボン、登山用スパッツ等を着用する
⇒ シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中
- ・足首を完全に覆う靴を履く
⇒ サンドル等は避ける
- ・明るい色の服を着る

- *上着や作業着は家の中に持ち込まないようにしましょう
- *屋外活動後は入浴し、マダニに咬まれていないか確認をしましょう
特に、わきの下、足の付け根、手首、膝の裏、胸の下、頭部などに注意

